

平成28年度（湘南）不祥事ゼロプログラム 年度末検証結果

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
○個人情報保護 ○情報セキュリティー	・個人情報流失の未然防止。 ・磐石なセキュリティー体制の維持	・4月当初及び3月、USBメモリーの管理、使用法、採点のための解答用紙等個人情報持出しの手順の徹底について指示を出した。 ・5月「生徒の連絡先(個人情報)の収集」文書を生徒保護者に通知し、情報収集に係る承諾書回収を実施した。
○わいせつ・セクハラ行為 ○体罰・不適切指導	・スクールセクハラわいせつ行為の未然防止 ・体罰不適切指導の未然防止	・5月事故不祥事防止会議及び教育実習生事前研修において資料を用いて相手がセクシャルハラスメントだと感じる行為がセクハラであると細心の注意喚起を行い、発生防止を徹底した。 ・12月の人権研修の際、自殺予防とともに体罰は絶対許されないこと、人権意識の向上が不適切指導の防止につながることを確認した。
○成績処理・進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	・成績処理・進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故の未然防止	・教科、学年、グループでの成績業務のチェック体制を朝の職員打合せで徹底した。6、7月の事故不祥事防止会議においては新聞報道された事故事例をあげ、意識喚起を効果的に行った。 ・11月職員啓発資料をもとに進路関係書類の事故防止案を一人ひとりが考えて書いた文章を回収、職員室掲示した。
○会計処理等の適正執行	・公費、私費会計事故の未然防止	・4～6月に私費、学校徴収金の会計処理に関する事故不祥事防止会議を実施した。9月には10月の私費中間監査、財務事務調査前に運用、帳簿、通帳管理の再点検を実施した。
○交通事故防止・酒酔い・酒気帯び運転防止	・交通事故防止・酒酔い・酒気帯び運転の未然防止とともに法令遵守の徹底	・12月事故不祥事防止会議において資料を用いて酒酔い・酒気帯び運転の絶対禁止について研修を行った。朝の打合せでも校長が身近で起きた交通事故の注意喚起を行い、ちょっとした不注意、油断の怖さを周知した。
○法令遵守意識の向上	・職員の法令遵守意識の向上及び公務外非行の未然防止	・10月の事故不祥事防止会議において資料を用い、公務時はもとより、公務外非行とはどのようなものをさすのかという研修を行い、「懲戒免職の指針」を周知した。
○入学者選抜に係る事故防止	・受検者のために入学者選抜に係る事故防止の徹底	・1、2月に全定ともに入学者選抜の新しい採点システムの研修を複数回行い、ミスの起こりやすい部分、業務の流れを全員がしっかり理解し事故防止を徹底する意識を共有した。

○ 平成28年度不祥事ゼロプログラムの達成状況と平成29年度に取り組むべき課題

- ・不祥事ゼロプログラムの計画に従って、毎月のテーマに係わる事故不祥事防止会議や研修を個人点検シートや点検表を用いて実施することができた。
- ・時に個別の校長面談を行いながら公務員としての自覚を喚起するとともに、当事者意識を持たせ事故不祥事防止に強く取り組ませるよう努めた。
- ・今後も事故は絶対起こさないという強い決意のもと未然防止の徹底に取り組む。